

みずしるべ

編集・発行
国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
ホームページアドレス <https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>
メールアドレス cbr-shinmaru@mlit.go.jp
TEL0574-43-2780 FAX0574-43-3921
2020年(令和2年)4月22日発行



2020
82

2020.2.21撮影

2020年度（令和2年度）新丸山ダム建設事業概要

新丸山ダム建設事業 新たなステージへ!!

令和2年度、新丸山ダムは本體工に着手します。

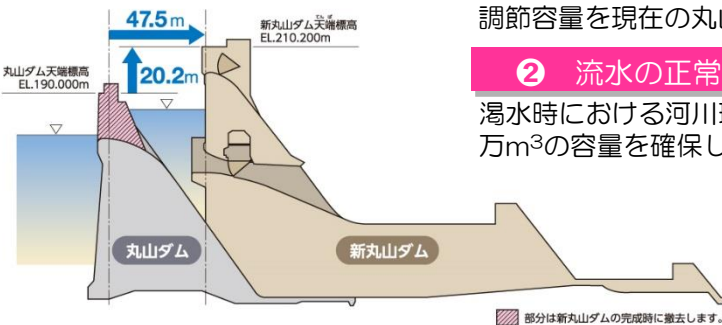
これまで管理所の移転や付替県道井尻八百津線を供用するなど、整備を進めてきました。今年度も付替国道418号及び付替県道大西瑞浪線の整備や転流工事（洪水時木曾川の水を迂回させるトンネル水路工事）、工事用道路等を進めるとともに、ダム本體工事に着手する手続きに入ります。

引き続き皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

新丸山ダム建設事業の概要

新丸山ダムは、洪水調節、河川の正常な機能の維持、発電を目的とする多目的ダムです。丸山ダムの下流47.5mの位置に、20.2m高上げして、ダム機能の向上を図る事業です。

ダム側面図



① 洪水調節

1983年（昭和58年）9月規模の洪水を安全に流すため、新丸山ダムの洪水調節容量を現在の丸山ダムと比較して7,200万 m^3 （3.6倍）に増加します。

② 流水の正常な機能の維持

濁水時における河川環境の保全等のために必要な流水として、新たに1,500万 m^3 の容量を確保します。

③ 発電

ダム貯水量の増加による高低差を利用して、丸山発電所と新丸山発電所の最大出力を22,500kW増加させます。

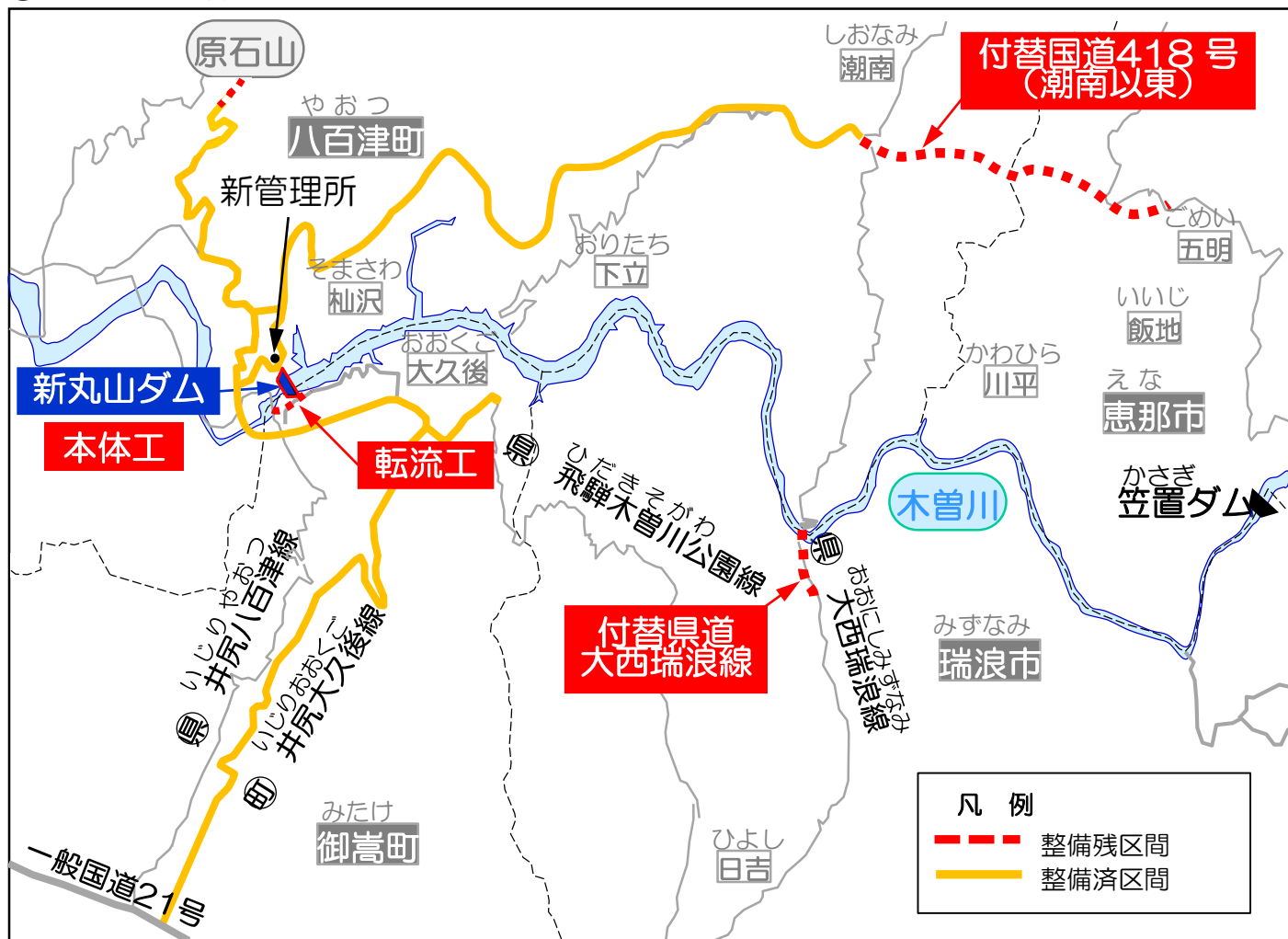
2020年度（令和2年度）のおもな事業

①事業費及び主な事業の内容

	令和元年度	令和2年度	主な事業内容
多目的ダム建設事業費	(億円) 当初 88.3 補正 4.0	(億円) 125.1	本體工、転流工、付替道路（国道418号、県道大西瑞浪線（五月橋））、工事用道路等の工事進捗を図ります。併せて、付替道路に関する用地補償及事業進捗に向けた各種設計を進めます。

②主な実施箇所

※金額は工事諸費等を含む



凡例

- 整備残区間
- 整備済区間

2019年度末（令和元年度末）の工事施工状況

ダム周辺（転流工※）

※ダムの工事を乾いた状態で施工するため、河川の流路を変更するバイパス水路です



転流工事進捗状況（令和2年3月末時点）



付替道路（国道418号等）



工事事故防止の取組（安全パトロール）

新丸山ダム事業等安全協議会※では、工事事故を防止するための取組として、毎月第3金曜日に工事現場の安全パトロールを行っています。安全パトロールは、代表の工事現場を他工事の受注者も一緒に現場内を点検することで、指摘事項や安全対策の推奨事例が各自の現場の参考になるなど、相互に安全意識の向上に努めています。また、安全パトロールには、協議会員（土木技術者）だけでなく、新丸山ダム工事事務所の事務担当の職員が参加することもあり、受注者と発注者が一体となって事故防止に努めています。

※新丸山ダム及び丸山ダムに関連して実施される工事・業務における労働災害及び公衆災害の防止を目的に設立され、現場で働く受注者、発注で構成されています。



高所作業（足場等）



整理整頓は安全の基本



最後に推奨・指摘の発表



重機はもちろん電気設備も

現場見学の取組

新丸山ダム工事事務所・丸山ダム管理所では、ダムの役割や防災に対する理解を目的に、小学校や高校の児童、生徒を対象した見学会や出前講師を行っています。

令和元年度は652人（平成30年度は734人）の方が現場見学や視察に訪れました。

ダム工事はこれから本格化しますので、学校の学習等の場として是非、ご活用ください。

※現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、見学の受付を見合わせています。

受付再開の際には改めてお知らせします。



■ 転流トンネルはこんなに大きいよ！



■ ダムの内部をご案内



■ 転流トンネルをバックに記念撮影



■ 保育園のおもたちには手づくりの模型で説明



■ 全門放流の映像は迫力満点



■ 展望台からは丸山ダムが一望できます